

10年後のわたしへ

元気になっていますか？

これを読んでいるということは、北区は

60歳を迎えたのかな？どんな姿になって

いるのかな。今よりもっと素敵な
まちになっているといいな。

これからも北区をよろしくね。

10年前のキタルさんより

北区制50周年記念イベント



9月14日 神鉄ハイキング

10月1日 神鉄トレイン
フェスティバル2023

裏話

10月1日はお子様連れの多いイベントだったため、当日はなんとブースの前に行列ができるほどでした！
100人近くの方から手紙をお預りしました。休む暇がないほどで嬉しい悲鳴となりました！

「キタルさんのぼすと」お手紙ご返却

2019年の企画「キタルさんのぼすと～令和5年のあなたに向けて～」でお預りした手紙を、今回の企画に合わせて返却しました。ドキドキしながら手紙を受け取られる方、4年前の文字に懐かしさがこみ上げる方、皆さま当時を思い返しながら、楽しんで読んでいただけたと思います。

9月23日 ベルスト鈴蘭台
3階すずらん広場にて

時を かける 手紙 10年後の私へ

北区制50周年の節目に10年後の自分に向けた手紙を募集しました。50周年記念事業のテーマのひとつである「創ろう“これから”」。北区の“これから”は、区民一人ひとりの中にあります。そんな一人ひとりの中にある自分自身の“これから”を「10年後の自分に向けた手紙」として区役所で預かり、10年後にお返しします。

■募集期間：2023年9月14日(木)～2024年1月9日(火)

合計2,162通のお手紙を預りました。
10年後の「再会」を楽しみにしてください。

以下のイベントでもお手紙をお預りしました！



希望の未来へアートでつなぐ。

アートを通して、多世代の想いをつなぎ、次世代へ届ける企画です。50mの龍が描かれ、託されました。北区各地でアートワークショップが行われ、様々な方々が未来への想いを、絵や言葉に描きました。龍が、その想いを背中に乗せて、北区各所を巡り、展示を通して各地をつないでいきました。「こうなったらいいなあ」と思う未来の絵や、北区50歳のお祝いの「ありがとう」「おめでとう」の気持ちなど、心温まる想いがたくさん集まりました。2024年は辰年ということもあり、この龍は、年始に山田町の「無動寺」の本堂に飾られ、参拝者の皆さまを迎えました。



北区のいろんな人とつながりました



アーティスト 黒木 拓実さん

龍の絵の制作者。アトリエを北区鈴蘭台に構える。大学在学中から画家として厄祓い・魂・エネルギーをテーマにした作品を制作。現在は兵庫県を中心に、アートを通じた子どもの居場所づくりも行っている。

コウベノモリト 久木田 啓さん

「未来を描いた龍が行く」の企画・運営者。北区鈴蘭台を中心に、多世代で「ともにくらすをおもしろく」するイベント・ワークショップを開催。鈴蘭台を舞台に“ことば”から“まち”を楽しむ「わたしのまちことば」など、イベントを通して参加者がまちとの繋がりを感じ、さらには地域の歴史文化や環境などへ、関心が広がることを目指す。

一年かけてつなぎます
未来を描いた龍が行く

裏話

【なぜ龍？】

古来よりひとは、自然が持つ巨大な力を龍になぞらえてきました。自然豊かな北区は、龍の力が流れているように感じます。北区の人達が、その力を感ぜられるといいなあと思っています。(企画者談)